

競技注意事項

1、規則

- ① 2021年(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会実施要項・申し合わせ事項によって行う。
- ② 全ての種目は、3回の予選試技を行い、決勝試技3回を行う。

2、練習

- ① ウォーミングアップは、競技場トラック(本部前直走路を除く)及び競技場外周路で危険防止に十分注意して行う。
- ② 特に公園内駐車場でのアップは、禁止とし厳に慎むこと。
- ③ 各種目とも二次召集を完了した競技者は、競技開始前に競技役員の指示されたフィールドで行う。

3、競技場・競技用靴について

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。フィールドは日本陸上競技連盟施設検定公認の人工芝です。
- ② 競技用シューズの規定は、(公財)日本陸上競技連盟競技規則TR5. 2～6、のとおりとする。
ただし、高校生競技者については、【フィールド競技用シューズ適用除外措置(2021/4/5)】より適応除外措置。

4、招集手順・入退場

- ① 一次召集は競技開始2時間前～1時間前までに競技場入り口受付へ「JAAF体調管理チェックシート」の提出、入場許可証(利き手ではない方にリストバンド)を着装する。
- ② 競技場入り口受付完了後、一次招集プロの試技順Noにチェックすることで一次招集完了とする。(60分前までに)持ち込み投てき用具は、用器具検定申請用紙に記入し確認を受けた後、本部室へ持参すること。
- ③ 二次召集は現地指定場所招集とし、確認の際、「アスリートビブス(ナンバーカード)付きユニフォーム」を提示すること。各競技の時間及び場所は下記の通りとする。

時 間	各競技開始時間の25分前～ 20分前
◇砲丸投	Bゾーン外側水壕付近
◇円盤投	Aゾーン第二コーナーゲート付近
◇ハンマー投	Aゾーン第二コーナーゲート付近
◇やり投	当日の風向きにより、Aゾーン第二コーナーゲート付近、またはBゾーン外側水壕付近

- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなします。
現地招集所に一次招集の確認がなく集合した場合、出場を認められない。
- ⑥ 競技場の入退場については、競技者係及びマーシャルの指示に従う。

5、アスリートビブス(ナンバーカード)

アスリートビブスは胸(腹ではない)と背に、しわにならないように伸ばして、四隅を 確実に着装する。

6、競技用具について

- ① 競技用具は原則として競技場備え付けのものを使用する。
但し、競技者は一次召集後に検査を受けて承認され、かつ全競技者が使用できる場合は自分の用具の使用ができる。
検査は、競技場入り口受付での受付後、係りの指示で競技開始2時間前から1時間前までに検査を受けること
- ② 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、本競技会で準備しない。
滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと

7、記録・記録証

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への記録公認申請を行います。
- ② 記録の発表掲示はありません。アナウンス発表及び 後日のWEB発表とします。
競技者には、アナウンス発表後出場した種目のリザルトを本部室で配付します。
- ③ 全ての種目について、記録上位の8名に競技記録を称える主催者発行の記録証を授与する。
記録集計発表後、放送連絡をするので競技者本人または、代理の人が本部室へ受け取りに来てください。

8、抗議

日本陸上競技連盟競技規則第146条によるものとし、競技結果の正式発表後30分以内とする。

9、その他

- ① プログラムの誤表記・記載内容の訂正は、総務へ申し出ること。
プログラムへの追加については、主催者側の未・誤編成・誤記等によるもの以外は受け付けない。
- ② 待機場所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。
会場内の競技者・競技役員・競技運営スタッフの動線(通行経路)を区別(指定)しているエリアがあります。
各々の区別(指定)外への立ち入り・進入は厳に慎み、競技役員・マーシャルの指示にご協力ください。
- ③ 携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ④ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
自身の出したゴミ類は全て、特に体液等の付着したものについては密封しお持ち帰り下さい。
- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑥ 競技場内での感染防止に対する指示事項に従っていただけない場合、主催者は競技会会場内への滞在を許可できません。競技会会場から早急な退場を警告・指示されることを、ご承知おき下さい。
- ⑦ 主催者は、競技会に関する全ての方に対し、感染責任を負うことはできない